

「県民健康調査」甲状腺検査 本格検査（検査7回目）実施状況

令和7年9月30日現在

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2～6回目）に引き続き、本格検査（検査7回目）を実施する。

2. 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

3. 実施期間

令和7年4月から（令和7年度～令和8年度）

(1) 18歳以下の対象者

令和7年度から令和8年度の2か年で実施

(2) 19歳以上の対象者

年齢（学年）ごとに実施

平成14年度～18年度生まれの方

(3) 節目の検査対象者

20歳を超えた方は、5年ごとの節目の検査を実施

令和7年度：平成7年度、12年度生まれの方

令和8年度：平成8年度、13年度生まれの方

なお、報告については別途行う。

4. 実施機関（令和7年9月30日現在の協定締結数）

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。

(1) 一次検査

(i) 県内検査実施機関 84か所

(ii) 県外検査実施機関 158か所

(2) 二次検査

(i) 県内検査実施機関 7か所（福島県立医科大学を含む）

(ii) 県外検査実施機関 46か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合

(ii) B判定：5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合

A2 の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合も含む。

(iii) C 判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合

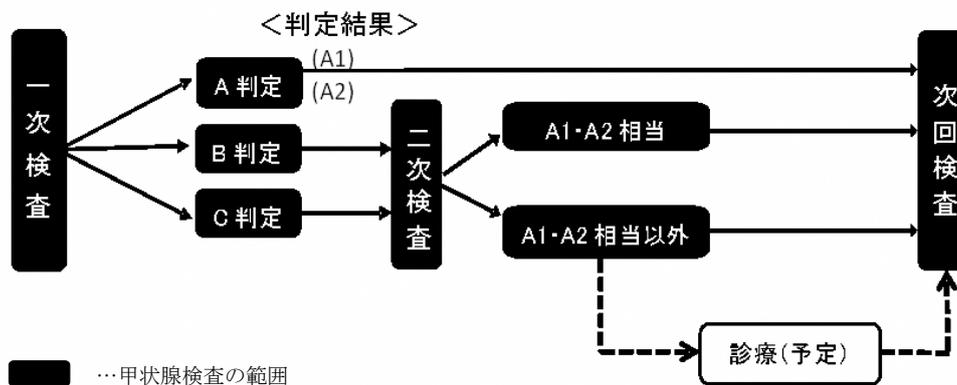
(2) 二次検査

一次検査の結果、B 判定または C 判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

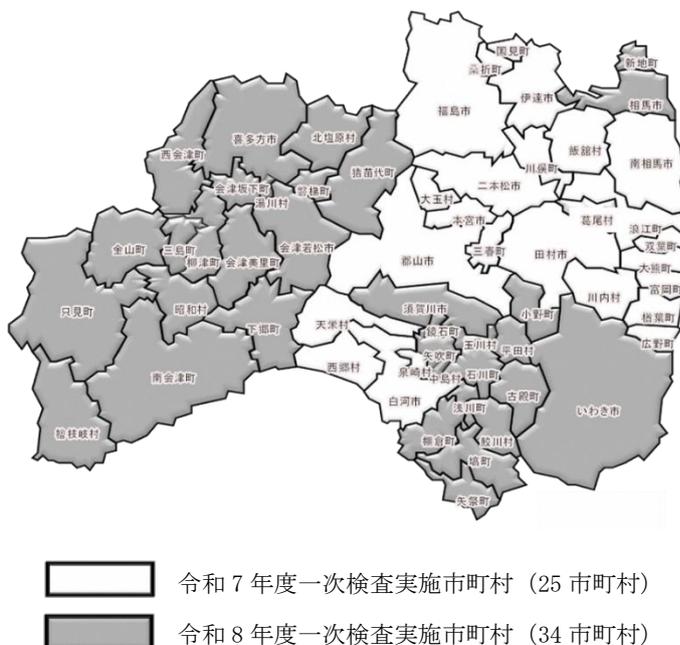
図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

令和 7 年度～令和 8 年度の各実施対象市町村は次のとおり。(18 歳以下の対象者)

図 2. 実施対象年度別市町村



II 調査結果概要（令和7年9月30日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

令和7年9月30日までに10,979人（6.4%）の検査を実施した。

そのうち、4,918人（44.8%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した。

検査結果はA1判定の方が1,302人（26.5%）、A2判定の方が3,522人（71.6%）、B判定の方が94人（1.9%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)			
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
		A1	エ(エ/ウ)		A2	オ(オ/ウ)	B	カ(カ/ウ)
令和7年度 (2025年度) 実施対象市町村 計	98,989	9,790 (9.9)	1,040	4,440 (45.4)	1,153 (26.0)	3,204 (72.2)	83 (1.9)	0 (0.0)
令和8年度 (2026年度) 実施対象市町村 計	72,962	1,189 (1.6)	104	478 (40.2)	149 (31.2)	318 (66.5)	11 (2.3)	0 (0.0)
合計	171,951	10,979 (6.4)	1,144	4,918 (44.8)	1,302 (26.5)	3,522 (71.6)	94 (1.9)	0 (0.0)

表2.結節・のう胞の人数・割合(詳細は別表1のとおり)

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
令和7年度 (2025年度) 実施対象市町村計	4,440	83 (1.9)	34 (0.8)	0 (0.0)	3,254 (73.3)
令和8年度 (2026年度) 実施対象市町村計	478	11 (2.3)	7 (1.5)	0 (0.0)	321 (67.2)
合計	4,918	94 (1.9)	41 (0.8)	0 (0.0)	3,575 (72.7)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入を行っている。以降の表も同様である。
- ・5年ごとの節目に検査を行う対象者（平成4年度～平成13年度生まれ）を除いている。節目の検査対象者については、別途、計上する。
- ・平成7年度生まれの対象者（約21,000人）及び平成12年度生まれの対象者（約20,000人）は令和7年度、平成8年度生まれの対象者（約21,000人）及び平成13年度生まれの対象者（約20,000人）は令和8年度に検査を実施。

(2) 年齢階級別受診率

各年度4月1日時点の年齢階級別の受診率は表3のとおり。

表3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

	年齢階級 注	計	年齢階級別内訳	
			13～17歳	18～24歳
令和7年度(2025年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注		13～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	98,989	46,937	52,052
	受診者数(人) イ	9,790	8,989	801
	受診率(%) イ/ア	9.9	19.2	1.5
令和8年度(2026年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注		13～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	72,962	26,982	45,980
	受診者数(人) イ	1,189	493	696
	受診率(%) イ/ア	1.6	1.8	1.5
合 計	対象者数(人) ア	171,951	73,919	98,032
	受診者数(人) イ	10,979	9,482	1,497
	受診率(%) イ/ア	6.4	12.8	1.5

注 年齢階級は、各年度4月1日時点の年齢。

(3) 本格検査(検査6回目)結果との比較

本格検査(検査7回目)を受診した方の本格検査(検査6回目)結果との比較については表4のとおり。

検査6回目でA判定(A1及びA2判定)と判断された4,185人(*1の合計)のうち、検査7回目でA判定は4,146人(*2の合計)で99.1%、B判定は39人(*3の合計)で0.9%であった。

また、検査6回目でB判定と判断された43人のうち、検査7回目でA判定は3人(*4の合計)で7.0%、B判定は40人で93.0%であった。

表4.本格検査(検査6回目)結果との比較

		本格検査 (検査6回目)結果 計 注1 ア	本格検査(検査7回目)結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査6回目) 検査結果	A	A1	*1 1,078 (100.0)	*2 803 (74.5)	*2 270 (25.0)	*3 5 (0.5)	0 (0.0)
		A2	*1 3,107 (100.0)	*2 300 (9.7)	*2 2,773 (89.3)	*3 34 (1.1)	0 (0.0)
	B	43 (100.0)	*4 0 (0.0)	*4 3 (7.0)	40 (93.0)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	690 (100.0)	199 (28.8)	476 (69.0)	15 (2.2)	0 (0.0)	
計		4,918 (100.0)	1,302 (26.5)	3,522 (71.6)	94 (1.9)	0 (0.0)	

注1 上段は検査7回目結果判定者の検査6回目検査結果(人)。検査6回目結果総数の内訳ではない。

注2 上段は検査6回目結果に対する検査7回目の検査結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. こころのケア・サポート

検査対象者へのこころのケア・サポートとして、次の取組を行っている。

(1) 一次検査のサポートについて

甲状腺検査対象者に対して、公共施設等の一般会場では、検査結果説明ブースにおいて、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら結果の説明を行った。

令和7年4月以降、令和7年9月30日現在で、全会場で検査結果説明ブースを設置し、受診者182人のうち182人（100％）が利用した。

(2) 出前授業について（検査7回目）

検査対象者に甲状腺検査の理解を深めてもらうため、出前授業を実施している。

令和7年4月から令和7年9月30日まで、2か所（中学校2校）で138人に対して説明等を行った。なお、延べ人数は17,088人となっている。

別表 1

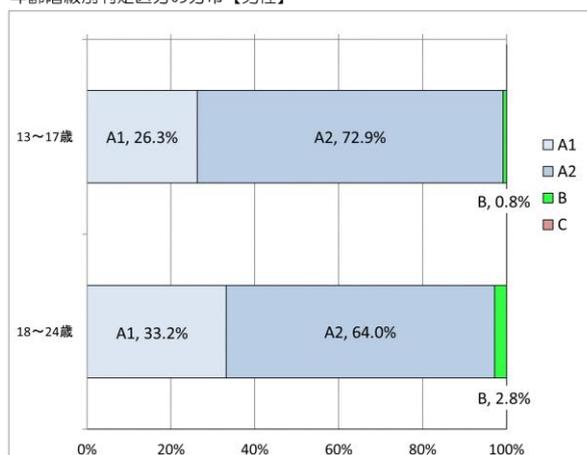
1 検査結果判定者の年齢及び性別

(単位 人)

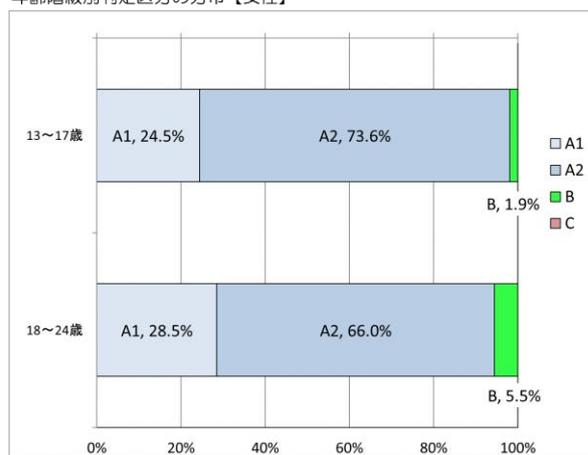
令和 7 年 9 月 30 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
13～17歳	559	442	1,001	1,550	1,330	2,880	17	34	51	0	0	0	2,126	1,806	3,932
18～24歳	141	160	301	272	370	642	12	31	43	0	0	0	425	561	986
合計	700	602	1,302	1,822	1,700	3,522	29	65	94	0	0	0	2,551	2,367	4,918

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

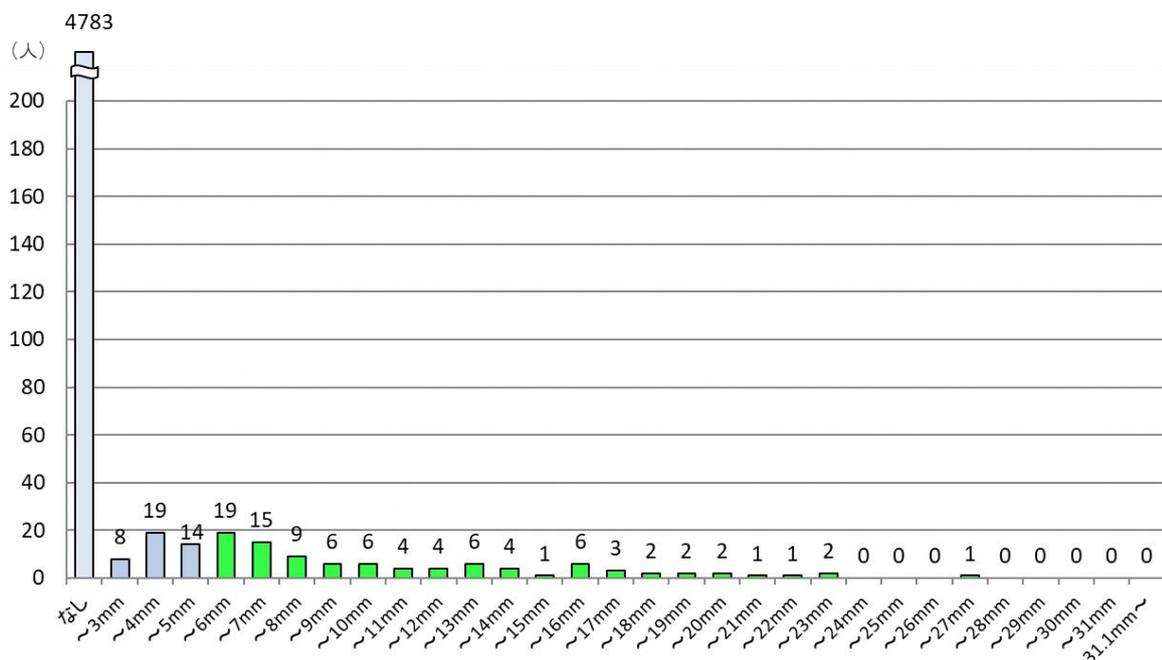
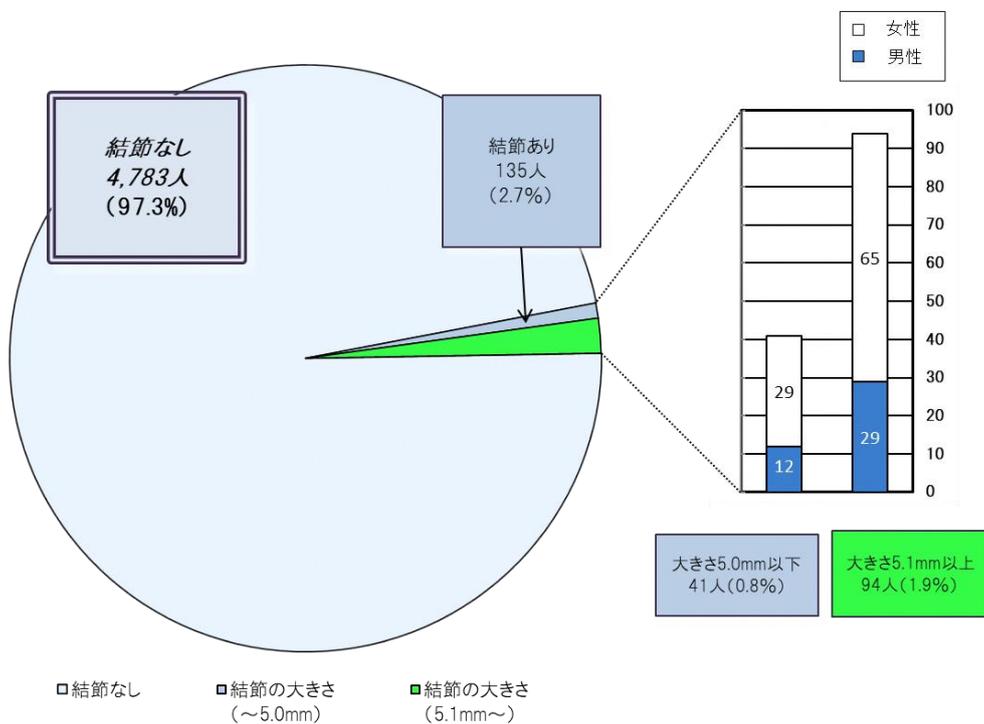


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和7年9月30日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	4,783	2,510	A1	97.3%
～3.0mm	8	2	A2	0.8%
3.1～5.0mm	33	10		
5.1～10.0mm	55	16	B	1.9%
10.1～15.0mm	19	7		
15.1～20.0mm	15	6		
20.1～25.0mm	4	0		
25.1mm～	1	0		
計	4,918	2,551		



3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和7年9月30日現在

のう胞の有無・大きさ	全体	判定区分		割合	
		男性	女性		
なし	1,343	718	625	A1	61.4%
～3.0mm	1,678	913	765		
3.1～5.0mm	1,552	767	785		
5.1～10.0mm	338	150	188		
10.1～15.0mm	6	3	3		
15.1～20.0mm	1	0	1	A2	38.6%
20.1～25.0mm	0	0	0		
25.1mm～	0	0	0	B	0.00%
計	4,918	2,551	2,367		

